

市民の党 海老名市議会議員 利権構造に挑む！

奥村しょうけんレポート

2006年 7月 えびな市民の党ニュース14号

海老名市河原口115-4 サンユーハイツ105

TEL&FAX 046-235-2029 Eメール masa-oku@mba.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.shouken-okumura.com/>



自・公・民 相乗り現職に

市民の力で勝った！滋賀県知事選挙



当選を喜ぶボランティアに囲まれる嘉田さん

かだ」由紀子	無新	217842当選
国松 善次	無現（自・公・民推薦）	185344
辻 義則	無新（共推薦）	70110

7月2日投票の滋賀県知事選挙で無所属新人の嘉田（かだ）由紀子さんが自民・公明・民主三党相乗りで3期目を目指す現職の候補を破り、初当選を果たしました。私も手弁当で滋賀に応援に行ってきました。

今回の選挙では嘉田さんは「もったいない」を合言葉に260億円もかかる新幹線の新駅建設や6つのダム建設、さらには焼却炉の建設など、ムダな公共事業はやめ、福祉や子育てなど、もっと生活に身近なところにお金を回そう！と訴えました。そして、その訴えに小泉改革の痛みや不安を感じていた市民が共鳴し一気に噴出した結果が勝利を導いたのだと思います。

私は、市民の党の仲間と電話かけをして支持

を訴えていたのですが「もったいないのおばちゃんやろ～してるで！」とか「新幹線の駅は反対や！まかしとき！」という声が聞かれるようになり、日ごとに支持の広がり感じました。

今回の嘉田さんの勝利は、今後の政局に大きな影響を与えることは間違いないでしょう。特に民主党は代表が小沢新代表になり、地方の首長選挙では「与野党の相乗り禁止」というルールを決めたにも関わらず、今回の滋賀県知事選は特例中の特例として現職の自公との相乗りをしました。その結果、今回のような結果になりました。

民主党は「政権交代」を目指しているのであれば、自・公との相乗りはするべきではないということが今回の選挙で示されたのではないのでしょうか。市民は真剣に政治を変えようとしていることが、はっきりしました。私も全力でがんばります。



当選直後の嘉田さんとガッチリ握手

受けたくても受けられない

介護保険サービスは限界だ！

最近、色々な地域でお話を伺うと、高齢者の方から「介護が大変だ」という声をよく聞くようになりました。介護の社会化ということで介護保険制度が出来て6年たっても、相変わらず家族の介護負担は高く、本当に介護サービスを受けたいと思っている人が、十分なサービス・必要なサービスが受けられないというのが現実です。

ある程度の年金収入があっても介護が必要な家族が介護施設に入所できても、介護施設にホテルコストが導入されたことにより、その費用を払うと、残った家族の手元にはほとんどお金が残らず、返って生活が苦しくなってしまうというケースが多くみられます。

また、国民年金のみの支給では、やはり介護利用料の1割自己負担が大変で、サービスの利用を控えている高齢者も方もたくさんいらっしゃいます。

受けたいサービスが受けられない

また、現在の介護保険の問題は、サービスを受けられる上限が決まっているということもあります。その上限が、高齢者の方が必要なサービスの時間としては少ないということです。本当は週に3回は欲しいけれど、介護度では2回しかホームヘルプサービスが受けられないといったケースもあります。

さらに、昨年の介護保険制度「改正」で、ホームヘルプサービスの単価が見直され、長時間一人の方に時間をかければかけるほど、

サービスをした事業者の収入が減るというケースがでてきました。一回のホームヘルプサービスで1・2時間で心の通った質のよいサービスが提供されるのか疑問です。

やはり介護保険サービスで十分にサービスが提供できないところに問題があります。市が介護サービスの利用者の自己負担を軽減するような仕組みを整えられない限り、介護の実情はよくなりません。

つまり、介護保険制度は、すでに高齢者の方々に、何ら「安心」を保障することはできず、破たんしているということです。サービス受給者・当事者である、高齢者自らの抗議の声があがりにくいことをいいことに、生きる希望すら与えないような社会そのもののあり方を変えていかなければなりません。

身体介護	30分未満	2448円
	30分以上ー1時間未満	4261円
	1時間以上	6190円
	以後30分ごとに	879円

(例) 居宅サービス訪問介護 身体介護の単価

高齢者に重くのしかかる負担

税制改革で

- ・ 高齢者控除の廃止

医療制度改革で

- ・ 医療費の自己負担

市では

- ・ 介護保険料の値上げ
- ・ 国民健康保険税の値上げ など

このままでは 障がい者グループホームがつぶれる！

海老名市のグループホームを運営している関係者の方々から「障害者自立支援法の本格施行を10月に控え、グループホームを閉めなくてはならなくなるかもしれない」というお話をうかがいました。よくよく聞いてみると国が示した障害者自立支援法でのサービス単価が低く設定されていて、世話人を置くことができなくなるグループホームが出てくるというのです。

これは大変だと思い、市に問い合わせると、「大丈夫でしょう」と楽観ムードです。

できることからやってみようとして一般質問で市が独自で障害者のグループホームに支給している家賃補助について質問しました。

市は家賃補助の必要性を認める

現在、海老名市が援護の実施者になっている障がい者の方で、海老名市にあるグループホームに入居している方は20名います。この方たちには月2万円の家賃補助がついています。

しかし、海老名市外にあるグループホームに入っている9名の方には家賃補助がついていません。

どちらも海老名市が援護の実施者であるのに差があるのはおかしいのではないのでしょうか？市外のグループホームに入っている方にも家賃補助をつけるべきだと主張しました

しかし、予算措置や要綱を変えなくては

ならないので、必要性は感じるが、すぐにはできないとの市の回答でした。

今後、実施を早めるために、更なる働きかけが必要です

生活を奪う「支援法」

今年の10月に障害者自立支援法の本格施行を控えて、現在サービスを受けるための認定が進められています。しかし、なかなか現実に沿った判定を受けるのは難しいようです。

また判定がきちんと行われて、サービスが提供されたとしても、それには1割自己負担という問題が大きいのしかかかってきます。

ただ生きるがために「障害者」のみに負担があることについて当事者は決して納得しているわけではありません。「障害者自立支援法」は「自立支援」とは全く逆の生活破壊を強いる法律です。問われているのは、この国の福祉のあり方そのものなのです。

談合の疑い？落札率100%がなんと8事業！？

6月7日の総務常任委員会に17年度の契約状況一覧表（入札物件）が資料として配布されました。

委員会の直前に配られた資料を見ると予定価格（市が、事業を行う場合に実際に予定している価格）の100%で落札されている事業が4つも見つかりました。さらに1つの業者が2件も100%落札をしているのに気がつき、委員会で質問しました。市の契約担当課の回答は「大体予定価格というのは予想がたつし、この2件については偶然としか考えられない」という主旨でした。

そして後日6月29日に2社の新聞で海老名市の落札率100%の事業8件について報じられました。

通常予定価格に関する95%落札があった

場合、何らかの談合がある疑いがあるといわれています。（17年度入札件数413件中落札率95%以上は78件）

海老名市では17年度から条件付一般競争入札を実施して平均落札率は81.9%となり、前年度と比較して8ポイントも低くなりました。一方で、前代未聞の絶対に考えられない「100%落札」などという、談合、情報漏洩などの疑いは拭えず、海老名市の信頼を失墜させるにあまりある事件です。

事実関係の解明に当局がどれだけ責任を果たすかは、利権の構造を許さない市民の勇氣ある声と行動によります。私も、こうした恥ずかしい事態が起こる原因を根こそぎ断ち切るために、全力を尽くします。

平成17年度 入札実績 （抽出条件：予定価格（税込）と契約金額（税込）が同額のもの）

	業種名	件名	業者	予定価格・落札価格
工事	土木	農業基盤整備427号水路整備工事	A	1291500円
委託	保守点検	海老名市保険相談センター消防用設備保守点検	B	819000円
委託	検査	平成17年度窒素酸化物簡易測定調査委託	C	1837500円
委託	検査	平成17年度工場排水等分析調査委託	C	2331000円
委託	保守点検	避難所用発電施設保守点検	D	1023750円
委託	調査	平成17年度道路台帳整備補正調書作成委託	E	5250000円
委託	除草・害虫駆除等	緑地植栽管理委託	A	7875000円
物品	消防防災	防災備蓄倉庫購入	F	1354500円

市民相談：お気軽に、ご意見をお寄せください！

ホームミーティング：出張して市政報告などを行います。

ホットライン 046-235-2029

メールアドレス masa-oku@mba.ocn.ne.jp

ボランティアとカンパを募っています！

市民の党・奥村しょうけんの活動は全てボランティアとカンパで支えられています。

奥村しょうけんを応援する会（1口1000円）

振込先 奥村正憲 横浜銀行海老名支店 普通 1584279